

2025年度通常総会資料

日時 2025年2月15日(土)

場所 TKP東京駅カンファレンスセンター
会員各位のご自宅等

一般社団法人札幌農学同窓会 東京支部

2025年度通常総会議事次第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 議事録署名人の選出

4. 審議事項

(1) 第1号議案 2024年度事業報告及び収支決算・監査報告

(2) 第2号議案 2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)

(3) 第3号議案 2025年度東京支部役員・顧問(案)

(4) その他

5. 報告事項

(1) 会費納入状況(年度別、支部別)、東京支部納入率

(2) 2025年度東京支部講演会について

日時: 2025年2月15日(土) 14時30分～15時45分

場所: TKP東京駅カンファレンスセンター・カンファレンスルーム2A、
会員各位のご自宅等(Zoom接続)

講師: 北海道大学大学院農学研究院准教授(植物育種学研究室)

小出 陽平 先生

演題: 『リジェネラティブ農業システムの構築と新たな作物開発への挑戦』

6. 閉 会

【第1号議案】

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2024年度事業報告

札幌農学同窓会東京支部として会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2024年度において以下の事業を実施した。

1. 通常総会の開催

- 2024年2月17日(土)13時から、TKP東京駅カンファレンスセンター会議室において対面方式での会議とオンライン(Zoom)会議を組み合わせて開催。2023年度の事業報告及び収支決算報告、監査報告、2024年度の事業計画案及び収支予算案について審議を行った。

2. 理事会の開催

- 2024年1月14日(日)、5月12日(日)、7月21日(日)、10月14日(月・祝日)、12月1日(日)の計5回、何れもオンライン(Zoom)会議により、2024年度通常総会の議事事項の検討、講演会等支部行事の運営、会員への情報提供、本部及び関係組織との連携、2025年度役員体制等について審議を行った。

3. 講演会等の開催

- 会員への情報提供、知識の向上等を目的として、以下の3回の講演会を何れも対面方式とオンライン方式を組み合わせて開催した。

① 第1回講演会

- 2月17日(土)、通常総会に引き続き、TKP東京駅カンファレンスセンター・カンファレンスルーム2Aにおいて、曾根輝雄先生(1992年北海道大学農学部農芸化学科卒、北海道大学大学院農学研究院教授・同国際食資源学院長・北海道ワイン教育研究センター長)を講師として講演会を開催した。
- 『地域のサステナビリティ向上のためのワイン教育研究』を演題として、北海道ワインの特性と地域産業としての可能性、北海道教育研究センターの設立意義などについて紹介いただいた。
- 参加者は、会場参加45名、オンライン参加25名(登録者)であった。講演会后、講師を囲んで懇親会を開催した。

② 第2回講演会

- 8月3日(土)、ミウラ・ドルフィンズ セミナールーム(東京都渋谷区千駄ヶ谷)において、石崎英治氏(2000年北海道大学農学部森林科学科卒、株式会社クイージ代表取締役、NPO法人伝統肉協会理事長、札幌農学同窓会東京支部理事)を講師として講演会を開催した。
- 『野生鳥獣を地域資源へ ジビエビジネスの立ち上げ』を演題として、野生鳥獣をジビエとして資源化し、安全/安心に提供する取組、地域活性化を目指して起業に至った経緯などを紹介いただいた。
- 参加者は、会場参加27名、オンライン参加16名であった。講演会后、講師を囲んで懇親会を開催した。

③ 第3回講演会

- 10月25日(金)、学士会館(東京都千代田区神田神保町)において、河岡義裕先生(1978年北海道大学獣医学部卒、国立国際医療研究センター国際ウイルス感染症研究センター長、東京大学国際高等研究所新世代感染症センター機構長)を講師として、北大獣医学部同窓会関東支部との共催で講演会を開催した。
- 『未来を守るためのエマージングウイルス研究』を演題として、私たちの健康に影響を及ぼすエマージングウイルスやパンデミックを引き起こす可能性のあるウイルスについて健康リスクの現状や将来の可能性などについて解説いただいた。
- 農学部関係の参加者は、対面12名、オンライン16名であった。講演会后、講師を囲んで懇親会を開催した。

4. 各種行事への支部代表の派遣

- 3月25日(月)の修了・卒業祝賀会に別所理事が出席し、東京支部代表として祝辞を述べた。
- 6月8日(土)に関西支部主催の「市民公開フォーラム」が大阪府堺市で開催され、山本理事が参加した。
- 6月28日(金)及び29日(土)に本部主催の行事として役員・代議員集会、親睦園遊会、遠友夏学校が開催され、櫻田理事長、別所理事、尾嶋理事、山本理事、溝口理事、松沢顧問が参加した。
- 北大農学研究院主催の「札幌アルムニ・レクチャー」については、今年度の派遣依頼はなかった。

5. 各委員会の活動

① 札幌農学校普及委員会

- 「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、2022年度の増刷分を有効活用し、農学院での「リーダーシップ学総論」の受講院生に一括配布したことに加え、北大本部及び校友会エルムへの寄贈、修学旅行引率者、「新渡戸の夢」上映会での希望者、海外子女教育関係者への提供等を行った。
- 農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生(合計約30名)を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈した。

② 企画・交流委員会

- 支部活動の中核となっている会員間の相互交流及び知識の向上等を目的として講演会等の活動の活性化に努め、講演会を3回開催(2月、8月、10月)するとともに、講演会と併せて、講師を囲んで懇親会を開催するなど、会員交流の深化に努めた。
- 講師及び講演テーマの選定においては、農学部との連携を図るとともに、夏の講演会については、若手会員の関心も考慮して実施した。併せて、夏の講演会後の懇親会については、新社会人応援企画と位置づけ、2020年3月以降の修了・卒業生については、低額(5000円⇒2000円)で参加いただいた。
- 本部主催の園遊会・遠友夏学校や関西支部主催の市民公開フォーラム及び東京同窓会主催のジンパ等の行事に参加し、組織間の連携・交流を図った。

③ 情報委員会

- 支部行事に多様な会員がより参加しやすいよう、通常総会及び講演会の開催に当たり、オンライン方式を組み合わせた開催に努めた。
- 会員への情報発信の充実を図るため、東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページ、メールマガジンを活用するとともに、支部主催行事の参加案内等の機会を活用して東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大に努めた。その際、本部からメールアドレスリストの情報提供を得て、オンラインでプッシュ型での案内に努めた。

6. その他

① 会員名簿の整備への協力

- 東京支部会員について移動や消息が把握された都度、本部への情報提供を行い、「札幌農学同窓会会員名簿」の正確性の向上に協力した。

② 関係団体との連携

- 北大東京同窓会主催のジンパ等の行事に参加し、組織間の連携・交流を図った。

2024年度 一般会計収支決算(2024年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	備 考
I 収入の部			
1 交付金	2,200,000	2,200,000	本部からの交付金
2 寄付金	0	0	
3 利息	40	319	
4 前年度繰越	3,500,018	3,500,018	
収入合計	5,700,058	5,700,337	
II 支出の部			
1 事務諸費	280,000	51,055	
(1)消耗品費	50,000	3,249	名刺カード、テープ等
(2)通信運搬費	50,000	1,292	はがき代、宅配便
(3)外注費	70,000	24,024	講演テープ起こし
(4)会議費	80,000	5,780	会議室利用料(会計監査)
(5)雑費	30,000	16,710	「フロンティア」誌への広告賛助、振込手数料
2 事業活動費	3,280,000	1,194,554	
(1)諸謝金	180,000	44,548	講演会等の講師謝礼
(2)資料作成印刷費	300,000	205,392	総会案内資料印刷、講演会資料印刷
(3)通信運搬費	500,000	260,299	総会案内はがき発送
(4)借料	600,000	172,160	総会及び講演会(2月、8月、11月)の会場費
(5)名簿関係費	200,000	0	
(6)交通費	600,000	294,630	講師旅費、役員旅費・日当等
(7)出版・領布関係費	200,000	0	今年度は、前年度増刷分に対応
(8)英文Bushido等寄贈	200,000	0	今年度は、在庫分に対応
(9)オンライン化関係経費	500,000	217,525	ホームページ更新経費、オンライン会議運営経費等
3 予備費	6,000	0	
支出合計	3,566,000	1,245,609	
III 当期収支差額	2,134,058	4,454,728	

2024年度 特別会計収支決算(2024年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	備 考
I 収入の部			
1 懇親会等会費	720,000	412,000	6000円×34名 5000円×24名、2000円×2名、 6000円×14名
(1)通常総会	240,000	204,000	
(2)講演会	480,000	208,000	
2 利息	0	6	
3 前年度繰越	86,205	86,205	
収入合計	806,205	498,211	
II 支出の部			
1 懇親会等経費	720,000	420,882	総会後の懇親会 講演会後の懇親会(2回)
(1)通常総会	240,000	227,392	
(2)講演会	480,000	193,490	
2 振込手数料	1,000	990	
支出合計	721,000	421,872	
III 当期収支差額	85,205	76,339	

監査報告

一般社団法人札幌農学同窓会東京支部の2024年度の事業報告及び収支に関する決算書類を監査した結果、その内容は適正であると認める。

2025年1月4日

監事 大島 稔彦 

監事 坂倉 雅夫 

【第2号議案】

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2025年度事業計画(案)

札幌農学同窓会東京支部は会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2025年度において次の事業を行う。

1. 通常総会の開催

- 2025年2月15日(土)14時00分から、TKP東京駅カンファレンスセンターにおいて、対面方式とオンライン(Zoom)方式を組み合わせで開催する。

2. 理事会の開催

- オンライン方式での開催を基本としつつ、必要に応じて対面方式での開催も組み合わせ、概ね2ヶ月毎に適宜開催する。なお、第1回会合は、2024年1月19日に開催する。

3. 講演会の開催

- 会員への情報提供の機会として、時宜に適したテーマによる講演会を積極的に実施することとし、第1回目を2月15日(土)に開催する通常総会の終了後に、北海道大学大学院農学研究院小出陽平准教授(植物育種学研究室)を講師に招聘して開催する。
- さらに、前年度と同様、夏の講演会を開催するとともに、秋期には獣医学部同窓会関東支部と共催で講演会を開催する。なお、今年度の獣医学部同窓会との共催講演会については、農学部側が講師の選定を行う。
- 講演会の開催方式については、会員の積極的な参加を喚起するため、対面方式とオンライン方式を組み合わせ実施するとともに、講演会の開催に際しては、できるだけ懇親会を併せて実施し、会員交流の促進に努める。

4. 新人歓迎会等の開催

- 東京地域に就職した今年の卒業生を対象に、新人歓迎会を6月に新規に開催する。なお、日程については関西支部が開催する新人歓迎会と同日として卒業生への周知を図る。
- そのほか、これまで「女性同窓生オンラインお茶会」、「会員交流サロン」など、オンラインを活用した会員交流を進めてきているが、引き続き、相互交流機会の設置に努める。

5. 各種行事への支部代表の派遣

- 3月下旬に予定されている修了・卒業祝賀会に、本部からの要請があれば、東京支部代表を派遣する。
- 北大農学研究院主催の「札幌アルムニ・レクチャー」について、必要に応じて、東京支部代表の派遣を検討する。
- 毎年6月に開催されている関西支部主催の「市民公開フォーラム」に役員を派遣し、支部間の交流を図る。

6. 各委員会の活動

① 札幌農学校普及委員会

- 「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、学生・院生、大学関係者等を対象に本書の配布、寄贈を行うとともに、今年度以降の普及事業に必要な部数を確保するため、1000部増刷する。
- 農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生（合計約30名）を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する。

② 企画・交流委員会

- 会員の相互交流、知識の向上に貢献できるよう、講演会等の企画及び講師の選定に努めるとともに、支部活動の活性化に向けて、各種行事の機会を利用して、若手会員や女性会員の参加を促していくことに加え、農学部の特徴を生かした新規行事の企画を検討する。
- 本部や関係団体の主催行事への支部代表の派遣を通じて組織間の連携を図る。

③ 情報委員会

- 東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページの充実を図るとともに、会員への情報発信を拡充するため、各種行事のオンライン化・ハイブリッド化、メルマガの積極的配信等を進める。
- 東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大を図るとともに、会員連絡方法の電子化に必要な会員名簿整備のため、本部情報担当理事との連携を強化する。

6. その他

- 東京支部会員の移動・消息情報の本部への連絡等を通じ、「札幌農学同窓会会員名簿」の正確性向上に協力する。
- 北大東京同窓会主催のジンパ(5月18日)等の行事に参加する等、各種関係団体との連携を図る。

2025年度 一般会計収支予算案(2025年1月1日～12月31日)

(単位:円)

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	2025年度予算額	備考
I 収入の部				
1 交付金	2,200,000	2,200,000	2,200,000	本部からの交付金
2 寄付金	0	0	0	
3 利息	40	319	300	
4 前年度繰越	3,500,018	3,500,018	4,454,728	
収入合計	5,700,058	5,700,337	6,655,028	
II 支出の部				
1 事務諸費	280,000	51,055	480,000	
(1)消耗品費	50,000	3,249	20,000	
(2)通信運搬費	50,000	1,292	20,000	
(3)外注費	70,000	24,024	50,000	テーブル起こし費用等
(4)会議費	80,000	5,780	360,000	理事会・各委員会関係会合の会議室利用料等
(5)雑費	30,000	16,710	30,000	「フロンティア」誌への広告賛助、振込手数料等
2 事業活動費	3,280,000	1,194,554	3,580,000	
(1)諸謝金	180,000	44,548	180,000	講師謝金等
(2)資料作成印刷費	300,000	205,392	200,000	講演会資料、新人歓迎会案内の印刷等
(3)通信運搬費	500,000	260,299	50,000	案内・資料の送付等
(4)借料	600,000	172,160	400,000	総会・講演会の会場費等
(5)名簿関係費	200,000	0	200,000	支部会員リストの整理等
(6)交通費	600,000	294,630	600,000	講師旅費、役員日額旅費等
(7)出版・領布関係費	200,000	0	1,250,000	「札幌農学校」の配布及び増刷(1000部)
(8)英文Bushido等寄贈	200,000	0	200,000	農学部に進学する新渡戸カレッジ学生等を対象に配布
(9)オンライン化関係経費	500,000	217,525	500,000	ホームページ更新経費、オンライン会議運営経費等
(10)会費等補助金			200,000	新人歓迎会経費の補助等(特別会計に繰り入れ)
3 予備費	6,000	0	6,000	
支出合計	3,566,000	1,245,609	4,066,000	
III 当期収支差額	2,134,058	4,454,728	2,589,028	

2025年度 特別会計収支予算案(2025年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	2025年度予算額	備 考
I 収入の部				
1 懇親会等会費	720,000	412,000	840,000	
(1)通常総会	240,000	204,000	240,000	6000円×40名
(2)講演会	480,000	208,000	480,000	6000円×40名×2回
(3)新人歓迎会			120,000	6000円×20名
2 会費等補助金			200,000	新人歓迎会（会費・会場費）等への補助（一般会計から繰り入れ）
3 利息	0	6	0	
4 前年度繰越	86,205	86,205	76,339	
収入合計	806,205	498,211	1,116,339	
II 支出の部				
1 懇親会等経費	720,000	420,882	1,040,000	
(1)通常総会	240,000	227,392	240,000	総会後の懇親会
(2)講演会	480,000	193,490	560,000	講演会後の懇親会（2回）
(3)新人歓迎会			240,000	新人歓迎会
2 振込手数料	1,000	990	1,000	
支出合計	721,000	421,872	1,041,000	
III 当期収支差額	85,205	76,339	75,339	

【第3号議案】 2025年度東京支部役員・顧問(案)

		役 職	氏 名	学 科	卒 業 年		在任期間	備 考	
1	役 員	理 事	理事長(支部長)	別所 智博	農芸化学	S56	1981	4	本部理事
2			副理事長(副支部長)	石崎 英治	森林科学	H12	2000	4	本部代議員
3			総務・会計委員長(事務局長)	岡本 浩明	農業経済	S60	1985	1	本部代議員
4			総務・会計委員会(会計)	榎 裕之	森林科学	H09	1997	7	
5			総務・会計委員会(会計)	石井 貴史	森林科学	H26	2014	3	
6			総務・会計委員会(事務局)	日向 潔美	森林科学	H20	2008	3	
7			札幌農学校普及委員長	山口 智	森林科学	H11	1999	1	
8			札幌農学校普及委員会	鈴木 雄太	農業経済	R2	2020	1	
9			情報委員長	岩波 浩太	農業経済	H13	2001	1	本部代議員
10			情報委員会	水上 裕之	農芸化学	S54	1979	5	
11			情報委員会	池谷 航	農業経済	R3	2021	1	
12			企画・交流委員長	ブエ 真奈美	畜産	H5	1993	3	本部代議員
13			企画・交流委員会	松本 英之	生物資源	H8	1996	1	
14			企画・交流委員会	関口 高士	林学	H02	1990	5	
15			企画・交流委員会	今井 遼太郎	農業経済	H31	2021	1	
1	監事		山本 幸一	林産	S49	1974	1	前理事	
2			尾嶋 好美	畜産	H05	1993	1	前理事・本部代議員	
顧問 (理事会参加)			櫻田 巧	農業経済	S58	1983		前理事長・本部代議員	
			坂倉 雅夫	農業工学	S48	1973		前監事	
			高橋 寛	農業工学	S62	1987		前理事・本部代議員	
			溝口 尚重	農学	H07	1995		前理事	

(参考2) 会費納入状況

会 費 納 入 状 況 (年度別、支部別)

年度	全 体					東京支部			関西支部		
	全会員数	住所不詳者	差引	会費納入者	会費納入率	全会員数	会費納入者	会費納入率	全会員数	会費納入者	会費納入率
17	13,526	3,423	10,103	2,344	23.20%	3,751	876	23.35%	627	123	19.62%
18	13,692	3,811	9,811	2,116	21.41%	3,624	784	21.63%	607	109	17.95%
19	13,705	4,006	9,699	2,182	22.49%	3,572	807	22.59%	593	110	18.54%
20	13,658	4,218	9,440	2,096	22.20%	3,511	802	22.84%	564	118	20.92%
21	14,107	4,925	9,182	2,009	21.87%	3,441	744	21.62%	534	117	21.91%
22	14,257	5,264	8,993	1,860	20.68%	3,362	683	20.31%	525	99	18.85%
23	14,392	5,431	8,961	1,835	20.47%	3,341	678	20.29%	535	107	20.00%
24	14,546	5,610	8,936	1,725	19.30%	3,350	604	18.03%	552	99	17.93%
25	14,695	5,737	8,958	1,669	18.63%	3,326	612	18.40%	565	88	15.57%
26	14,861	5,685	9,176	1,701	18.53%	3,400	614	18.05%	611	107	17.51%
27	14,970	5,606	9,364	1,708	18.24%	3,476	645	18.55%	650	109	16.76%
28	15,105	5,810	9,295	1,681	18.08%	3,447	621	18.01%	652	107	16.41%
29	15,247	5,998	9,249	1,609	17.39%	3,465	579	16.70%	661	117	17.70%
30	15,375	6,146	9,229	1,648	17.85%	3,415	591	17.30%	677	114	16.84%
2019	15,535	6,406	9,129	1,533	16.79%	3,362	538	16.00%	676	106	15.68%
2020	15,663	6,665	8,998	1,537	17.08%	3,335	542	16.25%	676	107	15.82%
2021	15,826	6,917	8,909	1,634	18.34%	3,311	594	17.94%	674	117	17.35%
2022	15,970	7,265	8,705	1,819	20.89%	3,258	704	21.60%	661	140	21.18%
2023	16,118	7,393	8,725	1,756	20.12%	3,204	655	20.44%	645	132	20.46%
2024	16,010	7,596	8,414	1,819	21.61%	3,147	697	22.14%	634	134	21.13%

注1) 「会費納入者」には、5年まとめ払いなどにより過年度に納入済みの会員を含む。

注2) 基準日が、年度により、同窓会員名簿作成時(10月)或いは年度末(12月末)と異なっている。

また、特別会員を除いて計算した年度もあるため、あくまで参考資料とする。

東京支部納入率（2024年12月31日 現在）

	県名	自宅	勤務先	自宅+勤務先	自宅納入者	勤務先納入者	納入者(自+勤)	納入率
1	新潟県	50	3	53	9	0	9	16.98%
2	長野県	72	5	77	19	0	19	24.67%
3	茨城県	234	35	269	58	1	59	21.93%
4	群馬県	54	5	59	15	1	16	27.11%
5	栃木県	92	5	97	23	0	23	23.71%
6	埼玉県	368	20	388	85	1	86	22.16%
7	千葉県	409	11	420	96	1	97	23.09%
8	東京都	874	131	1005	202	6	208	20.69%
9	神奈川県	549	23	572	129	2	131	22.90%
10	山梨県	32	0	32	9	0	9	28.12%
11	静岡県	160	13	173	38	0	38	21.96%
12	未登録	2	0	2	2	0	2	100.00%
13G		2896	251	3147	685	12	697	22.14%

小出 陽平（こいで ようへい）先生のプロフィール

略 歴

- 2003年 北海道大学農学部応用生命科学科卒業
- 2005年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了
- 2008年 北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- 2008年～2010年 国際稲研究所（フィリピン）
Visiting Research Fellow
- 2010年～2013年 国際農林水産業研究センター
日本学術振興会特別研究員
- 2013年 京都大学 白眉センター 特定助教
- 2016年 北海道大学大学院農学研究科 植物育種学研究室 助教
- 2017年～2018年 ジョンイネスセンター（英国） Visiting Collaborator
- 2021年 北海道大学大学院農学研究院 植物育種学研究室 准教授



- 専門分野 遺伝育種科学
- 研究活動 遺伝学と数理モデルによる新しい作物開発への挑戦
(植物育種学研究室ホームページより)

受 賞

- 2018年11月 日本農学進歩賞
- 2019年 3月 日本育種学会奨励賞

➤ 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

- J-PEAKSは、文部科学省が2023年度に新設した事業であり、**我が国全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成**を目的とする。
- **地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が**、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、**研究活動の国際展開や社会実装の加速等**を実現するために必要な環境整備を支援する事業。

➤ 北海道大学におけるJ-PEAKSの取組

- 北海道大学は、初年度採択の12大学の一つ。
- **農学・水産学・環境科学・生態学・生命科学研究等の強みを結集し、国内最大規模のフィールドである北海道**を活用して全学的に推進。
- **リジェネラティブ（環境再生促進型）な持続的食料生産システム**の研究開発および社会実装を目指し、海外大学や北海道内の参画機関との連携強化により、研究力の向上と世界の課題解決の双方を実現する。
- 農学部は、**リジェネラティブ農業システム**の構築を担当し、**小出先生は、そのプロジェクト・リーダー**。



北海道大学

参画機関

メルボルン大学／マサチューセッツ大学
アマースト校／地方独立行政法人
北海道立総合研究機構／室蘭工業大学／
北海道国立大学機構 小樽商科大学／
北海道国立大学機構 帯広畜産大学／
北海道国立大学機構 北見工業大学

フィールドサイエンスを基盤とした
地球環境を再生する新たな持続的
食料生産システムの構築と展開